

# 本葺瓦

honbuki-kawara



## 本葺瓦

honbuki-kawara

## 和

TANKAYAKI 炭化焼

nagomi

自然の温もりを暮らしで楽しむ

# 和

TANKAYAKI 炭化焼

nagomi

# 本葺瓦

honbuki-kawara



社団法人 日本建築連合会  
伝統的文化賞 受賞

## 本葺瓦の流麗

丸瓦と平瓦を組み合わせせた瓦が本葺き瓦であり、  
一般住宅はもとより寺院やお城の屋根に使用されています。  
日本で初めて瓦が葺かれた飛鳥時代より  
連綿と継承されてきた瓦の源流。  
最もベーシックで価値のある瓦。

いつの時代にも耐える形状と色調。  
深淵の銀色が醸し出す気品と風格が、  
周辺環境に豊かな個性を添えます。



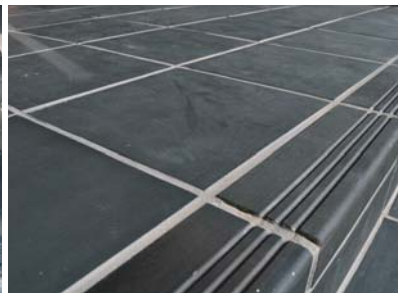
本葺用 4寸5分使用



《本葺瓦の種類》瓦には様々な種類があり、様々な使用方法があります。  
伝統的な本葺瓦。永い歴史で磨かれた伝統美が、郷愁と安らぎを与えます。

AW・J-305-3 万十軒巴 (尺2寸)	AW・J-306 半月巴万十	AW・J-308-3 掛巴(万十)(尺2寸)	AW・J-310 隅巴瓦(万十)	AW・J-311 隅巴瓦模様入(つづ入り)	AW・H-1(K) 本葺用5分平瓦(切落)	AW・J-221R 53判・56判用 隅面戸瓦(筒形面戸瓦)(右)
AW・J-221L 53判・56判用 隅面戸瓦(筒形面戸瓦)(左)	AW・H-1-1(M) 本葺用5分平瓦(面取)	AW・H-2 本葺用5分平唐草(模様入)軒瓦 9寸平唐草	AW・H-3 本葺用5分平鎌(無地)軒瓦	AW・H-4 本葺用5分敷平瓦	AW・H-4-1RL 本葺用5分敷平切隅(右)(左)	AW・H-4-2 本葺用5分平剣高(模様入) 唐草軒瓦
AW・H-4-3 本葺用5分平鎌(無地) 剣高軒瓦	AW・H-5 本葺用5分平唐草(模様入) 掛瓦(壱の平)(右)	AW・H-6R 本葺用5分平鎌(無地)掛瓦 (壱の平)(右)	AW・H-6-1L 本葺用5分平唐草(模様入) 剣高掛瓦(壱の平)(左)	AW・H-6-2L 本葺用5分平鎌(無地) 剣高掛瓦(壱の平)(左)	AW・H-7RL 本葺用5分二の平瓦(右)(左)	AW・H-7-2 本葺用5分一の平・二の平一体型 掛瓦(右左兼用)(無地)
AW・H-7-3 本葺用5分一の平・二の平一体型 掛瓦(右左兼用)(唐草入)	AW・H-7-4 本葺用5分一の平・二の平一体型 掛瓦(右左兼用)剣高(無地)	AW・H-7-5 本葺用5分一の平・二の平一体型 掛瓦(右左兼用)剣高(唐草入)	AW・H-8R 本葺用5分平唐草切隅瓦(右)	AW・H-8L 本葺用5分平唐草切隅瓦(左)	AW・H-11 本葺用5分うつば唐草 (箱二の平)掛瓦	AW・H-11-2R 本葺用5分切妻用 本掛隅唐草切隅(右)(尺2寸)
AW・H-11-2L 本葺用5分切妻用 本掛隅唐草切隅(左)(尺2寸)	AW・H-12 本葺用5分素丸瓦(7寸)(4寸5分)	AW・H-12-1 本葺用5分素丸瓦(8寸3分)	AW・H-12-2 本葺用5分印籠(玉口) 付紐丸(働き長さ7寸)	AW・H-13 本葺用5分軒巴瓦(つづ入り) (尺)(4寸5分)	AW・H-14 本葺用5分掛巴瓦(つづ入り) (尺2寸)	AW・H-15 本葺用5分拝み巴瓦(つづ入り)
AW・H-16 本葺用5分隅巴瓦(つづ入り)	AW・H-17-1R 本葺用5分袖丸瓦(右) (働き長さ7寸×垂れ13寸)	AW・H-17-1L 本葺用5分袖丸瓦(左) (働き長さ7寸×垂れ13寸)	AW・H-17-2R 本葺用5分袖丸瓦(右) (働き長さ7寸×垂れ15寸)	AW・H-17-2L 本葺用5分袖丸瓦(左) (働き長さ7寸×垂れ15寸)	AW・H-18RL 本葺用5分谷巴瓦(右)(左)	AW・H-20R 本葺用5分谷瓦(谷平瓦)(右)
AW・H-21 本葺用5分箕甲(鬘)面戸瓦 (9寸尺用)	AW・H-22 本葺用5分椽面戸(土居面戸)瓦 (9寸尺用)	AW・H-23RL 本葺用5分隅面戸瓦(右)(左) (9寸尺用)	AW・H-24 本葺用灸(フスマ)瓦 (7寸・8寸・9寸)	AW・H-25 本葺用鳥灸(フスマ)瓦	AW・H-90(K) 9寸尺平瓦	AW・H-90-6 9寸尺軒巴(長さ2尺2寸)(径5寸5分)

各種別注(紋入巴・振巴)承ります。



・印刷インクの性質上、実際の色とは異なって見える事がありますのであらかじめご了承下さい。



## 瓦屋の手作りタイル




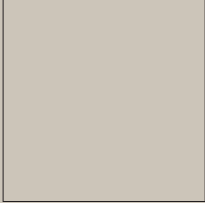
### 和の由来

「和」という言葉は、現代でも使われている言葉ですが、「なごみ」と読むことでココロからほっこりし、素材そのもので癒しを感じていただきたいと…。

そこには「和らく」「にこやか」そして「和む」といった意味を込められています。

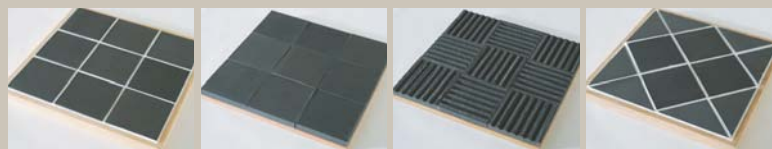
古きを知り、新しきを知り、そして生み出すこと。大切なことに気づかずに、通り過ぎてしまうことは多大にあるものです。そんな空間の癒しの気づきのきっかけになればと、「和」を創り上げました。

### 和タイルの種類

 <b>和100(タイル)</b> W100×D100×H13mm	 <b>和200(タイル)</b> W200×D200×H18mm	 <b>和245(タイル)</b> W245×D245×H20mm	 <b>和300(タイル)</b> W300×D300×H22mm
--	--	--	--

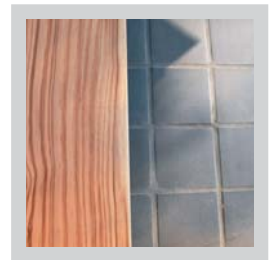
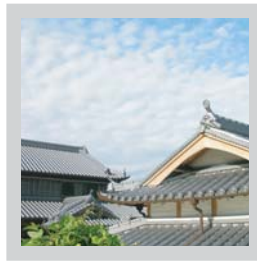
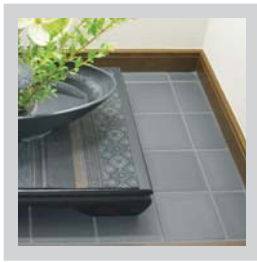
吸水率 (%) 7~10  
凍結融解 異常なし (20回以上)

### 和施工サンプル



### 炭化焼とは

炭化焼とは炭素化合物が主成分の素材を加熱すると燃焼が起こり、炭素は周囲の酸素と結合して二酸化炭素となってしまいます。しかし、酸素を遮断した状態で加熱を行うと、炭素化合物は分解するにとどまり、炭素のみが残る。この現象を炭化（たんか）と呼ぶ。空気中でも加熱、燃焼中に酸素の供給が不完全であれば炭化する。主に炭を製造、生成する際に用いられる。木炭は木材の炭化によって得られる。石炭は古代の植物が土を被って酸素が遮断された状態で地熱によって加熱された事で炭化したものとされている。



## ■製品に関するお願い

- 天然原料の粘土を使った自然素材である焼成瓦特有の色ムラ・寸法誤差が発生する場合があります。
- 日焼けによる色あせや、ホコリの付着などによる色合いの変化が発生する場合がありますが、品質・性能および耐久性を損なうものではありません。
- カタログ製作時商品であり、改良のため、仕様・外観は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。



Amozutsumi

本葺瓦・社寺瓦一式

# 雨堤製瓦

〒656-0341 兵庫県南あわじ市津井2638-32 TEL&FAX. (0799) 38-0728

<http://www.m-awaji.jp/~amaken/>

雨堤製瓦

検索

